

令和6年12月 3日

出張報告書

栗山町議会議長

鵜川和彦様

栗山町議会議員 齊藤義崇



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和6年 11月 28日～29日
- 2 出張先 中標津町
- 3 調査事項 議会改革特別委員会における「議員の活躍を担保できる報酬の調査」について
・議員報酬改正までの審議内容等について
- 4 関係書類 別紙のとおり



栗議第 109 号
令和6年10月29日

中標津町議会
議長 後藤 一 男 様

北海道栗山町議会
議長 鵜 川 和 彦

栗山町議会 議会改革推進会議による調査研究について（ご依頼）

晩秋の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、本町議会議会改革推進会議による調査研究につきまして、ご快諾いただき、厚くお礼申し上げます。

つきましては、下記によりお伺いいたしますので、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和6年11月29日（金） 午前10時00分（2時間程度）
2. 人 員 5名 ※詳細は別紙名簿のとおり
3. 調査内容 議会改革特別委員会における「議員の活躍を担保できる報酬の調査」について
・議員報酬改正までの審議内容等について
※質問事項がある場合は、別途、ご依頼申し上げます。
4. 連絡先 栗山町議会事務局（担当：中野）
〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地
（直通） TEL 0123-73-7517 FAX 0123-72-1233
E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.lg.jp

栗山町議会 議会改革推進会議 調査研究参加者名簿

	職 名	氏 名	備 考
1	座 長	さい とう よし たか 齊 藤 義 崇	副議長
2	副座長	はし のり たか 端 師 孝	議会運営委員会副委員長
3	委 員	すず き ち はや 鈴 木 千 逸	議会運営委員会委員長
4	委 員	ふじ もと みつ ゆき 藤 本 光 行	監査委員
5	委 員	う か わ かず ひこ 鵜 川 和 彦	議長

日 時	令和6年 11月29日（1日間）10：00～11：30
視 察 先	中標津町議会
調査事項	町村議会議員報酬の改定に関する調査
対 応 者	議長、委員長、他議員5名、事務局員2名
1. 視察目的	栗山町議会では現在、報酬に関する調査特別委員会において、議員報酬に対する審査を行っている。中標津町では令和6年6月に報酬55,000円（月額・議員1人当たり）を増額し、同年8月に選挙を行っている。選挙戦が行われ、新人5人が当選したことから、報酬はなり手不足の解消にもつながっていると思われる。そこで議会改革推進会議としては、議員のなり手不足解消の先進事例として、その調査を実施し、今後の栗山町議会の改革と報酬に関する特別委員会での審査に役立てることを目的に、推進会議委員5名で政務調査を実施した。
2. 視察内容	11月29日 10：00～11：30 1 議会改革特別委員会の経過 2 報酬決定の根拠と決定までのプロセス 3 決定経過の課題と選挙後の課題について ※ なお、事前に質問事項6項目を送付し、視察時に書面と口頭にて回答を頂いた。
① 背 景	栗山町においては、令和元年度から報酬と定数に関する調査特別委員会を4年間開催し、議員定数は1減の11名としたが、報酬については、社会背景を理由に増額を見合わせた。これを受け改選後、令和6年3月より、報酬検討の特別委員会を編成し、その調査を行っている。
② 特 徴	報酬改定について、その時期と額について審議中である。時期については、まだ協議していない。増額については、およそ多くが報酬増額すべきとなっている。その増額の根拠については、町村議長会が示す新原価方式を採用すべきとの意見も多い。
3. 主な質疑	報酬の検討について、委員会、議会での苦勞した点や報酬改定の根拠とそのプロセスについて質疑を行った。また、住民や行政

4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	側の考えや、改定案を審議会に諮り、答申までのプロセスや留意点についても調査のため、質疑を行った。 (1) 感想 報酬増額への課題は多岐にわたるが、議会の課題の解決に一番重要な、議長や委員長のリーダーシップに加えて、事務局との協力と連携が課題の克服に繋がったと感じた。次に新原価方式による議員活動の調査について、各議員に正確度の高い活動実績の提出を求め、所謂「ウ」新原価方式での議員活動にいての根拠を作り上げたことも、住民理解やスムーズな審議会答申が得られた要因であると感じた。各議員の活動格差についても、委員会資料としてまとめ提出、その協議を納得いくまで行ったことに感銘した。 (2) 政策提言 栗山町の特別委員会において、委員の理解が必要であるが、中標津町議会における、報酬に関する審議プロセスや合意形成、住民との対話や審議会への資料提出など、見習うところは大きく、今後の委員会審査に模倣しながら役立てていきたい。また、審議会への提出資料の正確度の高い報酬算定根拠も参考になる。栗山町議会でも令和3、4、5年度の活動実績を調査しているが、その精査を行い、議会・行政側・町民の多くが納得できる根拠を導きたいと考える。議長や委員長の責任の重さについても、改めて感じる政務調査となったので、議長・事務局長と委員会の開催に当たっては、充分協議して資料作成や提出、協議の方向性について、効果的な委員間討議となるよう準備もしていきたい。 (3) 課題 「ウ」の議員活動について、栗山町議会議員の差が大きい。このことについて、明確に課題化し、委員会として取り上げていきたい。次に改定時期については、現状でも議論が割れていることから、報酬改定額がおおよそ定まった後に、そのプロセスと公布施行時期について意見をまとめていきたいと委員長として考える。
----------------------------------	--